

※ 安全とは何かを考える

全てのスタッフが鉄道の安全を確保するために体験型研修と机上型研修を通じて自分たちに「何が必要なのか」、「何をしなければいけないのか」を考える研修を行っています。

【体験型研修】

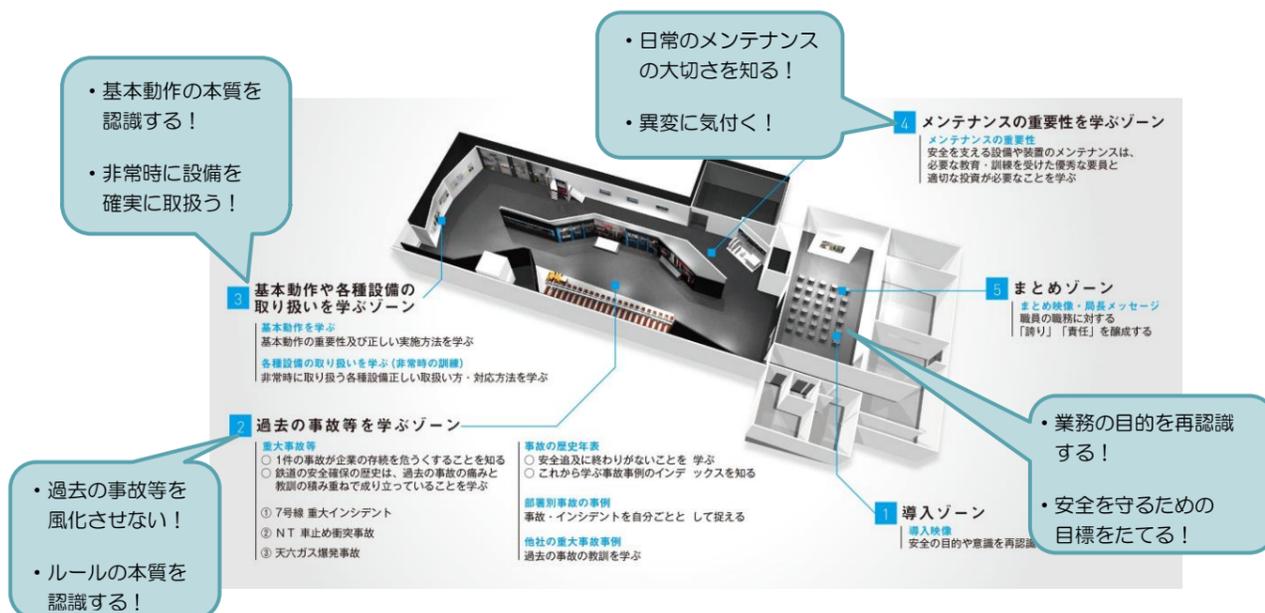
過去に大阪市交通局の地下鉄やニュートラムで発生した事故やトラブルなどを貴重な教材としてその原因、背景要因及び現在定められているルールや取扱いが何のためにあるのかを学び、同様の事故を繰り返さないという意識を高める研修

【机上型研修】

鉄道事業を安全に運営するための基礎的な知識や事例をもとに事故等の予防策を考えるなどして、気付く力、考える力及び行動することの重要性を学ぶ研修



机上型研修



体験型研修

◆ 職責に応じた研修

職場リーダーに求められる資質を考える

技術部門スタッフのうち、責任者として仕事をする者に対して事故や労働災害などのトラブルを未然に防ぎ、安全で確実な作業を行うために、チームの管理や若手スタッフへの指示・指導の手法などの習得を目的として外部講師による研修を実施しました。



研修風景

安全意識の高い運転士を育てる

電車の運転士は鉄道事業の中でも最前線で安全輸送を提供する仕事です。

このため運転士になるためには身体的・精神的な資質の他にさまざまな知識、技術や技能を修得し、国家試験に合格しなければなりません。

大阪市交通局では、国土交通省から指定された動力車操縦者養成所において専属の教師が自身の経験などを含めた幅広い指導を心掛け、安全意識の高い運転士の養成に努めています。



動力車操縦者の養成風景

異常時の対応力を高める

設備故障や災害など、通常では発生させることが困難な事象への適切な対応の訓練を充実するために、各所に運転シミュレータを設置しました。



運転シミュレータによる訓練イメージ